

104-87

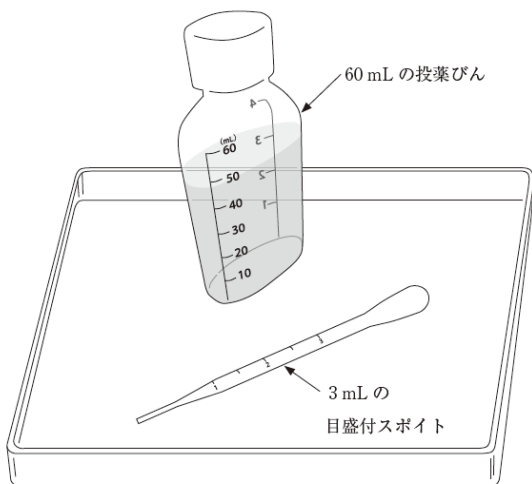
問題文

下記の処方に従って薬剤調製した後の鑑査で指摘すべき項目はどれか。1つ選べ。なお、投薬びんと処方薬剤は無色透明である。

(処方)

アムプロキシール塩酸塩シロップ 0.3% 1回 2 mL (1日 6 mL)

1日 3回 朝昼夕食後 8日分



1. 遮光の必要性
2. 薬剤の総量
3. 計量カップの必要性
4. 薬札(ラベル)の必要性
5. 投薬びんにおける服用量の目盛の必要性

解答

4

解説

選択肢 1 ですが

アムプロキシールシロップは遮光の必要性はありません。

選択肢 2 ですが

必要量は $1 \text{ 日分 } 6 \text{ mL} \times 8 \text{ 日} = 48 \text{ mL}$ です。投薬びんの 50 mL の目盛りより、わずかに少ない程度の量なので問題ありません。

選択肢 3 ですが

スポイトがあるため、不要と考えられます。

選択肢 4 は妥当です。ラベルが必要です。

選択肢 5 ですが

目盛り付きスポイトで、毎回 2mL とればよく、必要ありません。

以上より、正解は 4 です。